



樹木マップ in 林試の森公園



めずらしい樹木（外国生まれ）



見つけたらチェック✓しよう！

32 カイノキ



鳥の羽のような葉っぱをつけます。紅葉がとてもきれいな木です。孔子のお墓の前に植えられたことから、「学問の聖木」とも呼ばれています。

33 ハンカチノキ



春になると白い花がひらひらゆれて、ハンカチがいっぱいぶら下がっているように見えることが名前の由来です。

38 ヒマラヤゴヨウ



長い針のような葉っぱですが、やわらかめで5本で一つになっています。松ぼっくりは、日本の松より大きいものができます。

39 ヒマラヤトウヒ



とても高くなる木です。葉っぱはかたく、ちょっとチクチクします。松ぼっくりに似た「種」の入った入れ物をぶら下げます。

42 センペルセコイア



世界で最も大きくなる木の1つとされていて、100mを超えるものもあります。葉っぱはやわらかく、木の皮はとても厚いです。

樹木マップ in 林試の森公園



『林試の森公園』ってどんなところ？

平成元年（1989年）、林業・森林を研究した「林業試験場」があった場所に開園しました。

東西に700m、南北に250mと細長い公園で、外周の園路は「45分」くらいでぐるっと一周できます。

春はいろいろな種類の桜が咲き、夏は木かげが涼しく、秋は木の実をたくさん拾うことができ、冬は木の枝ぶりが青空に映え…と季節によって、さまざまな表情を見せてくれます。



みどりを守る『SDGs パークセンター』

林試の森公園は、都会の真ん中に残された貴重な自然を守る取り組みを行っています。

サービスセンターの前には「公園の歴史」や「緑を次世代につなぐ活動」「動植物と共存する公園の利用」など、楽しく学べる「SDGs パネル」があります。ぜひ見てみてください。



樹木マップ in 林試の森公園

樹木マップは、公園の中にあるいろいろな木を、家族や友だちといっしょに楽しく見つけられるよう、日本大学生物資源科学部の皆さんと一緒に作りました。

葉っぱのかたちや木の実の色、花の甘い香り—自然の中には、ふしぎがいっぱいです。さあ、このマップを持って「樹木探しの旅」にでかけましょう！

公益財団法人 東京都公園協会
Tokyo Metropolitan Park Association

木は本々、高くなります。枝は扇のように広がり、ホウキをさかさまにしたような姿になります。冬になると落葉します。



20 ケヤキ

木の幹はまっすぐ伸び、香りもいいので、よく山に植えられる。利用されています。葉っぱの裏を見ると白い線が「Y」の字に見えます。



19 ヒノキ

木の皮が黒っぽいことから「クロマツ」と呼ばれ、海岸線などよく見られます。「アカマツ」という似た木があり、こちらの樹皮は赤っぽいです。



12 クロマツ

木は本々、高くなります。葉っぱをこすると「スーッ」とした香りがします。



4 ケヌキ

カナムシが好きな木で、木の皮は黒っぽく、細長い葉っぱで落葉します。丸いかたちの「どんぐり」をつけます。



1 クヌギ

見つけたらチェック✓しよう！



身近な樹木

葉っぱは大きく、裏に文字や絵を書くことができます。「ハナカシ」の語源になったと言われていて、郵便局に植えられていることもあります。



31 タラヨウ

葉っぱはツヤツヤしていて、上半分がギザギザになり、下半分がややくるくると、少し大きなものを見つけます。



30 イチイガシ

葉っぱは厚くて光沢があります。木は高くなることもありますが、春には地味な黄緑色の花を咲かせます。どんぐりをつけます。



27 ハナカシ

山の中にあり、大きくなります。葉っぱは細長くギザギザです。春から初夏に小さな白い花が咲き、秋に小さな実をつけます。



24 リンボク

日本の南の山や森にある小さな木です。ツヤツヤした葉っぱと、春に白い花、秋に黒い実がつきます。ちよつとめずらしい木です。



23 コグラノキ

見つけたらチェック✓しよう！



めずらしい樹木（日本生まれ）